

例；日曜日入院の場合

入院当日(日曜日)

- ・13時入院
入院説明やNSTなど
- ・夕方
頸管熟化処置（必要な方のみ）を実施します

全日ともに

- ・麻酔中はベット上で過ごします
- ・陣痛促進剤使用中は固形物の飲食は不可です
(お茶・水・スポーツドリンクは可)
- ・尿意がなくなるため3時間毎に導尿します

※麻酔説明書・同意書も必ず熟読してください

入院1日目(月曜日)

- ・7時頃～
胎児心拍図モニター
診察、陣痛促進剤を開始
- ・9時半頃
硬膜外麻酔チューブを入れます
(この時は少量のみ麻酔薬を使用します)

この時点で費用(10万円)が発生します

- ・痛くなってきたら～
希望があれば持続的な麻酔を始めます

- ・16時頃
分娩の進行がなければ
陣痛促進剤・麻酔ともに終了します

- ・夕食を食べます
・早く寝て翌日に備えます

分娩が進行している場合は
陣痛促進剤・麻酔ともに継続します
17時15分以降の麻酔は麻酔科の指示のもと、産科医が管理します

入院2日目(火曜日)

- ・7時頃～
胎児心拍図モニター
診察、陣痛促進剤を開始
- ・9時以降で痛くなってきたら～
希望があれば持続的な麻酔を始めます

- ・16時頃
分娩の進行がなければ
陣痛促進剤・麻酔ともに終了します

- ・夕食を食べます
・早く寝て翌日に備えます

分娩が進行している場合は
陣痛促進剤・麻酔ともに継続します
17時15分以降の麻酔は麻酔科の指示のもと、産科医が管理します

入院3日目(水曜日)

- ・7時頃～
胎児心拍図モニター
診察、陣痛促進剤を開始
- ・9時以降で痛くなってきたら～
希望があれば持続的な麻酔を始めます

- ・16時頃
分娩の進行がなければその後の分娩方法について以下のように相談させていただきます

木曜日以降は和痛分娩なしで分娩誘発を継続
または
分娩停止の判断で帝王切開に切り替える
(帝王切開の日時は主治医判断になります)

陣痛促進剤と麻酔を終了した後（夜間など）に自然に陣痛が来た場合は？

申し訳ございませんが、安全管理上、夜間の麻酔再開ができないため和痛なしでの分娩になります。
翌朝になれば麻酔の再開が可能です。

分娩後は？

産後2時間程度経過してから硬膜外麻酔チューブを抜去します。疼痛時は基本的には鎮痛薬の内服を行います。スタッフの指示に従ってください。